夢と志をもち、自ら学び、共によりよく生きようとする砥川っ子　～ 大切な自分　大切なみんな ～

# 砥川っ子だより

第　23　号
R　8年　11月　2日
文責　　校長

## 海辺の自然を満喫！体験・発見・感動の宿泊学習（5年生）

28、29日は波戸岬少年自然の家で、5年生の自然教室でした。総勢12名の5年生と引率職員4名での1泊2日。行く前には多少の不安もあったようですが、とても楽しく充実した2日間をおくることができました。1日目の午後、自然の家の所員さんに「砥川小の子は人懐っこいですね」とお声かけいただきました。というのも、施設内の草スキー場で遊ぶ遊ぶ。海でカッターボート体験の直後で疲れているはずなのに、自分達で草スキー用のそりを借りに行き、みんなで滑る姿は、とても楽しそうでほほえましかったです。競走したり、交代でそりを使ったり、男女関係なく盛り上がっていました。片付けの時、〇〇さんが元気よくお礼を言っていたので、所員さんが喜んでくださったようです。もちろん、遊んだだけではありません。入所式では　●●さんがしっかり挨拶し、夕べの集いでは、「マイクいりません」と　■■さんがはっきり大きな声で、他校の児童もいる中で司会進行を務めました。□□さんの学校紹介は石工の里や150周年式典など工夫を凝らした楽しい内容でした。活動後の感想交流では　◇◇さん、◆◆さんが進んで発言し、その積極性は自然教室最後の振り返りでの　△△さん、▲▲さんの発言へと続きました。2日目の野外炊飯では、手際よく調理する女子が多く、▽▽さんの思い切りのよい判断で手際よくカレーが作れました。後片づけでは、▼▼さんや◎◎さんがかまどをきれいにしてくれ、▲▲さん他みんなの努力で食器や鍋もぴかぴかにし、一発合格をもらいました。☆☆さん▼▼さんは友達に優しい言葉をかけ、助け合う和やかな雰囲気をつくっていました。自分の良さを発揮し、みんなで協力できた2日間。ぜひ来年の5年生にも引き継いでほしい砥川っ子の素晴らしさでした。










## 入賞おめでとう

津の里ファミリー川柳
お題　宿題

・最優秀賞　2年　〇〇　さん
（子）　やったああ！　なつのしゅくだい　おわったぞ
（父）　おいむすこ　そのプリントは　りょうめんぞ

・優秀賞　4年　◆◆　さん
（子）　今年もだ　最後に残る　感想文
（母）　言ったよね!?　先にしようね　苦手から・・・。